

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	富士見市立針ヶ谷小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	3	2	2	2		14	20
児童数	71	84	96	60	71	80		462	

研究の概要

1. 研究主題

「わかる・できる」確かな学力の育成 - 算数科を中心に -
-------------------------------

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

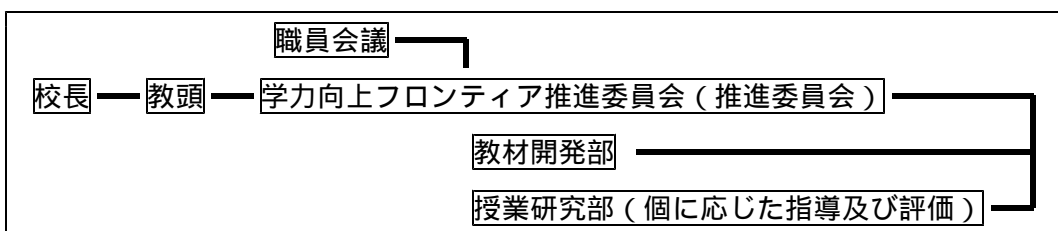
<p>1、2、3、4、5、6学年・算数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる、できないが子どもにわかりやすい教科であるため。</li> <li>・教師にとっても指導の系統性がはっきりしていて、子どものつまずきを解消する手立てを立てやすい教科であるため。</li> <li>・児童の実態や発達段階を考慮しながら、TT・コース別指導を実施しやすい教科であるため。</li> <li>・今まで学習してわかったことをどのように使えば「できる」のか、他の解き方でも「できる」のか、自分の解き方が別の場面でも使えるのかを常に授業の中で大切に、「わかる・できる」喜びを実感させやすいため。</li> </ul>
---

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>(研究主題)「わかる・できる」確かな学力の育成 - 算数科を中心に -</p> <p>(研究仮説)(1) 個に応じた指導法・指導体制を工夫改善する。 (2) 個に応じた教材・教具を開発、活用する。 (3) 評価を生かした指導法の改善を図る。</p> <p>(研究内容) 児童の実態を分析・把握後、個に応じた指導法として全学年でTT・コース別指導を導入し、その中できめ細かな指導を充実させ、確かな学力の育成を図る。</p>
--------	---

平成16年度	<p>(研究主題)「わかる・できる」確かな学力の育成 - 算数科を中心に -</p> <p>(研究仮説)(1) 個に応じた指導法・指導体制を工夫改善する。 (2) 個に応じた教材・教具を開発、活用する。 (3) 評価を生かした指導法の改善を図る。</p> <p>(研究内容)(1) について 多様なTT・コース別指導法の実施 自学年に他学年教員が入るTT・コース別指導法の実施</p> <p>(2) について 発展的な学習や補足的な学習のための問題作り 単元の基礎基本を明確にした指導計画作り コースごとの本時導入問題と練習問題作り</p> <p>(3) について 単元の基礎基本を踏まえた評価規準作り 振り返りテスト結果一覧表の作成と児童のコース選択時への活用 授業記録の作成と児童の自己評価の活用</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- (1) コース別指導が軌道に乗り、「楽しい」「またやってみよう」という児童の充実感につながっている。(授業後の振り返りカードより)
- (2) コース別指導では児童一人一人のペースで学習することができるため、単元末の評価において、特に補充コース児童の学力の向上がみられる。
- (3) 外部評価では、「習熟度別指導は児童一人ひとりにとっても合っている」「個々の児童を理解し、学習内容によりコース別指導をすることはとてもよい」と好評である。

2. 今後の課題

- (1) 多様なT・T・コース別指導の展開の工夫と各コースの違いの明確化
- (2) 単元を見通した補充・発展課題作り
- (3) 系統的な指導教材の整備
- (3) 簡素で効果的な評価の工夫

学力等把握のための学校としての取組

- (1) 学力把握のため、人間地区算数・数学科学力調査を活用し、年度初めと年度末に数と計算、量と測定、図形、数量関係の4領域について、児童一人ひとり学力調査を実施する。
- (2) 算数に関する意識面での実態把握をするため、年度初めと年度末に、算数の好き嫌い、その理由、T・T・コース別指導の好き嫌い、その理由等についてアンケートを実施する。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- (1) 平成15年6月7日(土)土曜参観日に於いて、保護者を対象にフロンティア事業の目的や今後の予定を説明した。
- (2) 平成15年9月12日(金)、本校に於いて、本校職員と保護者、近隣の二市二町の教員を対象に、「少人数指導<算数科・コース別指導>で子どもの個性を伸ばす」と題し、東京学芸大学教授 伊藤説朗先生の教育講演会を実施した。
- (3) 平成16年2月4日(水)、市内教員を対象に、3、4年算数科T・T・コース別指導の公開授業と研究協議会を実施した。
- (4) 保護者・地域の理解を得るため「フロンティアだより」発行している。
- (5) ホームページにて、随時研究経過を発信している。
- (6) 平成16年6月23日近隣二市二町の学校に向け、10月20日割り当て市町村の学校に向け、本校に於いて公開授業研究会開催予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  6学級以下  7~12学級
- 13~18学級  19~24学級
- 25学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導
- 一部教科担任制  その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科
- 生活  音楽  図画工作  家庭
- 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無